

# 令和7年(2025)8月教育委員会定例会 会議録

令和7年(2025)8月26日(火)午後2時00分、出雲市教育委員会定例会を出雲市役所6階全員協議会室に招集した。

## (1) 会議に出席した者

教育長	杉谷 学
委員(教育長職務代理)	川田量子
委員	奥 康人
委員	布野和弘
委員	鳥屋尾あかね

## (2) 欠席した者

なし

## (3) 説明のため会議に出席した者

副教育長	金築健志
教育部次長(学校教育課長)	矢田和則
教育部次長(児童生徒支援課長)	原田 尚
教育部次長(教育政策課長)	山根裕恵
教育施設課長	古川 薫
学校給食課長	山内泰治
出雲科学館館長	曾田浩司
学校教育課主査	園山正樹
児童生徒支援課主査	小林 剛
学校教育課課長補佐	高見哲也

## (4) 会議の書記

教育政策課主査 池尻精二

## (5) 傍聴者

0名

## 開会

(杉谷教育長) ただいまから、令和7年8月出雲市教育委員会定例会を開会いたします。本日の会議は、お手元に配付している日程のとおりでございます。

## 日程第1 教育委員会感謝状の贈呈

(杉谷教育長) まず、はじめに、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を行います。教育政策課 山根次長 お願いします。

(山根教育部次長)みなさま、ご起立ください。ただいまから、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を行います。本日、感謝状を贈呈する方は、先月7月定例会にて贈呈を決定いたしました出雲市立斐川西中学校に関連いたします伊藤 富夫様でございます。贈呈の前に、ご功績につきまして、ご紹介申しあげます。

(ご功績の紹介)

(山根教育部次長)先般、開催されました出雲市教育委員会7月定例会において、出雲市教育委員会感謝状贈呈要綱第5条の規定により感謝状贈呈が決定されましたので、本日、教育委員会感謝状を贈呈するものであります。それでは、杉谷教育長から、感謝状を贈呈させていただきます。

(杉谷教育長) (感謝状を被表彰者へ贈呈)

(山根教育部次長) それでは、ここで、一言ご挨拶をお願いいたします。

(伊藤 富夫様) (挨拶)

(山根教育部次長) 以上をもちまして、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を終了します。ここで、写真撮影を行いますので、みなさまお願いいいたします。

(写真撮影)

(山根教育部次長) ありがとうございました。みなさまは、ここで退席されます。

## 日程第2 教育長行政報告

(杉谷教育長) 次に、日程第2「教育長行政報告」を行います。

(以下、報告項目のみ掲載)

① これまでの動向 (R7年7月22日以降)

R7. 7.23	スクールランチクッキング (出雲学校給食センター)
R7. 7.24	第1回教育政策審議会
R7. 7.25	雲伯都市教育長会 (安来市)
R7. 7.28	県知事要望、いじめ対応校長面接 (リモート ~8月7日)
R7. 7.29	島根国スポ、全スポ準備委員会第6回総会 (松江市)
R7. 7.30	市長と校長会との懇談会
R7. 7.31	島根県都市教育長会第2回定例会、研修会 (出雲市内)
R7. 8. 3	出雲市戦没者追悼式典 (市民会館)
R7. 8. 4	出雲市学力向上研修講座 (英語) (平田行政センター)
R7. 8. 5	第2回教育政策審議会
R7. 8. 6	出雲市フレンドシップ事業、中学生サミット
R7. 8. 8	全日本特別支援教育研究連盟中国・四国地区研究大会 (大社文化プレイスうらら館)
R7. 8.16	出雲神話まつり

R7. 8.18	県教育長要望（県教育庁）、 国スボ出雲市準備委員会設立総会（ラピタ）
R7. 8.19	平和学習島根ふるさと読本贈呈式
R7. 8.21	第3回教育政策審議会（出雲科学館） 島根中央炊飯センター新社屋竣工5周年記念式典
R7. 8.22	小・中学校長会
R7. 8.24	出雲市同和教育講演会（市民会館）
R7. 8.26	教育委員会8月定例会

## ② 今後の予定

R7. 8.27	定例記者会見
R7. 8.28	山陰中央新報社地域開発賞選考会（松江市）
R7. 8.29	出雲市議会9月定例会開会、本会議、全員協議会
R7. 9. 1	カラヨキ市訪問団帰国報告会
R7. 9. 3	出雲市議会9月定例会一般質問（～8日）
R7. 9. 9	出雲市議会9月定例会予算特別委員会
R7. 9.11	出雲市議会9月定例会文教厚生委員会
R7. 9.18	出雲市議会9月定例会決算特別委員会（～24日）
R7. 9.24	教育委員会9月定例会

(杉谷教育長) 委員の皆さんに7月、8月のところで、様々な会議等にご参加いただいたと思います。高校総体、中学生サミット、平和祈念式典や先般の同和教育講演会などにお出かけいただいたと思うのです。感想をお一方ずついただければと思います。川田委員からお願ひします。

(川田委員) 日曜日の同和教育講演会、非常に心に残りました。特別な配慮の話をされて、私たちは、配慮されていることに気づいてないということがよくわかりました。普通、何か特別な配慮のものは、目につくのですけれど、実は、普段、配慮されている側なんだという。みんなが配慮されてる社会なのに、特別な範囲の人たちだけを特別だというふうに何か見てたと、すごく大きな気づきでした。日々、差別をしてはいけないと心がけているつもりですけれど、何も触れないということもまた、スルーされている当事者からすると、スルーしてるんだよと思われるのだなど。普段の生活を振り返って、本当に恥ずかしい思いもしましたし、これから本当に気をつけて、こういう気づきを大事にしていきたいと思いました。

(杉谷教育長) 奥委員。

(奥委員) 8月6日の中学生サミットに参加をさせていただきました。昨年のサミットにも参加をさせていただいて、リーダー研修に近いものなのかなと、イメージしておりました。今年度に向けて、昨年の段階で課題を持たれたのかどうか。100パーセントよかつたという形で、今年も実施されたのであれば、いいと思うのです。何か課題を持たれて、今年、その課題に取り組んだ、成果が

あれば、お聞きをしたい。サミットの終わりで、市長の講評もありました。その中で、参加した各学校の子どもたちが、これを持ち帰って、取組を続けていくという宣言であったというふうに理解しております。例えば、学校に帰つてから、どのように取り組み、どのような情報共有の仕方をしたのか。同じような形で2年、3年と続けていくのであれば、検証していく必要があると思っております。そういう点に関して、お尋ねしたいです。

(杉谷教育長)矢田次長。

(矢田教育部次長)中学生サミットは、昨年度からタブレットを使って、グループで共有、意見がすぐ反映できるような形でのやり方に変えました。そういうところの通信的な部分の不具合を改善するなどして、取り組んだことがあります。また、中学生の皆さんが話し合った内容を、市役所全体でも共有したいという意味で、事前に各部局にアナウンスしました。今回は、事前に各学校でどのテーマにするのかというのを出していただき、関連の部局の皆さんにはぜひ聞いてくださいと呼びかけました。その点が昨年と変更したところです。子どもたちの意見をしっかりと市政に反映させるという取り組みをしていまし、それが市長の意向でもあります。広がりをもたせたというところは、大きな特徴と思っています。生徒たちの意見を聞いて、代表の皆さんのが、同じ学年の子と同じ課題に向かって話し合う機会、そういう意見を聞く場というのは、大変有意義だと考えています。子どもたちからも、いい機会だったという意見もあります。こういった場を続けていきたいと思っています。現在は、まとめていて、今後ポスターを作る予定です。各学校に配ったり、また庁舎内にも掲示して、中学生の意見をしっかりと市民の皆さんへも広報していきたいと思います。今回、出雲ケーブルテレビにおいて特集を組んでいただいています。繰り返し放送されています。市の行政のテーマを設けて、特集番組を作っているものですから、今回の中学生サミットを取り上げていただきました。生徒の皆さんにもインタビューをしていただいて、大変PRできたと思っています。

(杉谷教育長)布野委員。

(布野委員)私は、なぎなたをインターハイで初めて見させていただきました。判定の基準がなかなかわからなくて、奥が深いなと思いました。最初の礼から始まって、礼に終わるように、流れがうまいなという人の方が点が高いなということが部分的にわかりました。どこでどう違うのか、ちょっと私では理解できないところもありました。初日と2日目だけしか見れなくて、試合形式は見ていないので、残念でした。もう一つ、今回の同和教育講演会は、今まで年配の方が結構多かったのですが、若い方でした。こういう講師の方のような方がいらっしゃったら時代は変わっていくかなという気がしました。また、コミュニティセンター運営協議会に出席しました。マネージャーとかセンター長さんは、地域の人が推薦をして、決めるのでしょうか。

(杉谷教育長) コミュニティセンター運営協議会で雇用しています。

(布野委員) コミュニティセンターのセンター長やマネージャーも時代に合った仕事内容でやれればいいなと思っているのです。松江が行っているように、各種団体が事務局を持ったり、なるべく、コミニティセンターの人材を使わないで会場設営とか資料を作ってください。それぐらいにしてしまったほうがいいのかなっていう気がします。中学生サミットですが、10個のテーマでかぶるところもあったのですけれども、地域によって少しずつ差が出ていたので、学校、地域によって違うのだなという気がしました。生徒会の役員をしての方々だから、進行とかいろいろなやり方がうまいなといいました少しずつ、ものになってきたというか、出雲のことを思っている。若い人なりの考えも見えていましたので、どんどん私は伸ばして欲しい。何か、それを1つでも、実行できれば、やってよかった、嬉しいのではないかと思います。何とかいい方向に持っていくてもらえればありがたいなと思います。

(杉谷教育長) 鳥屋尾委員。

(鳥屋尾委員) 出雲市の戦没者追悼式典に参加しました。私も初めて参加したのですけれど、一般の方の参加が少ないなと思いました。遺族会の方とその家族、参加された小学生とそのご家族などが参加されたのではないかと思います。私は、仕事柄、高齢者の方と接しますので、戦争に行かれた方とか、戦時中の悲惨さを話される方もいます。思いをはせることがあるのですけれど、こうやって当たり前に暮らしていることは、普通ではないということ、ありがたみを感じました。来年は、もう少し一般の方の参加があるといいなと思いました。なぎなたのほうにも参加させていただきまして、私も初めてだったですが、会場設営というか運営を高校生たちが、やっていました。得点とか。開会式のときにやっていたのがすごいなと感心しました。とまとアリーナの外の花についても、後で I C V でも見たのですけれど、農林高校の生徒たちが育てて、準備をしたと。朝、早くから持って行ったのだということはすごいなと思いました。地域一体となって、このなぎなたの大会を盛り上げようとやっていたのだなと思いました。令和12年には、国民スポーツ大会もありますので、もっと素晴らしいものができるかなと楽しみになりました。中学生サミット、私は初めて行ったのですけれど、難しい内容でどんなことを言うのだろう、どんなことを考えているのだろうと思って見ていました。地域に属したような課題を見つけ、選定して、それに対してこうした方がいいのではないかと意見を述べていました。子どもたちがもっと積極的に話せるようになるといいなと思っていました。ちょっと静かだなと思って、学校ではそんなことないと思うのです。知らない子たちが、知らない大人たちに見守られていると、緊張しているのがすごく伝わってきました。先生や報道関係者の方は、見学者があったのですけれど、地域学校協働活動推進員さんが来てみるといいのかなと思いました。来年度、地域学校協働活動推進員さんの都合のつく方が来てもらうとより面白い学校づくり、地域づくりに繋がると。子どもたちがこの中学生サミットで考えたこと、目標だったり、行動計画を立てたのですけれど、3年生なので、これを実行に

移す期間があるのかなと。振り返りがあるのかどうか、どうなのか、すごく気になりました。

(杉谷教育長) 参加者の広がりがあるといいということでした。この辺りの広報の仕方かなと思っています。地域学校協同活動推進員さんの参加は、いいアイディアだと思っています。鳥屋尾委員さんがおっしゃったのは、中学生サミットの生徒会こういうことをやりたいですということを、奥委員さんも指摘されたのですけれど、学校に帰ってからどういうふうになっていくのかっていうことと、それからもう一つは、行動目標とおっしゃったので、フレンドシップ宣言のことかなと思ったりしました。

(鳥屋尾委員) 中学生サミットのとき、僕たちにできることはみたいなことです。

(杉谷教育長) 中学生サミットの生徒会の取組と、午前中のフレンドシップの取組が今後どうなっていくかっていうことを紹介をしてもらっていいですか。

(原田教育部次長) フレンドシップ事業につきましては、午前中集まってグループ協議をして、目標・テーマをみんなで作りました。その後、実際議場の方で、議長と副議長を選出し、その場で、行動宣言という形で宣言をしてもらいました。各学校で、それがいいのか、悪いのかも含めて協議して、議員と同じでボタンを押して、賛成多数で可決しました。これを持ち帰って生徒会等での合言葉というか、キャッチフレーズにしていただきながら、進めていくことになります。今年、出た「心和」というテーマなのですけれども、それをポスターにし、学校の方に配布して、それを掲げながら進めていくことになります。それをもとに生徒会の方で、評価、どうだったかを振り返っていただけると一番いいのです。その辺は今後、また協議しながらどうして進めていくかを考えていかないといけないかなというところです。すべての児童生徒のタブレットを立ち上げると壁紙としてそれが見れるようにするということもしております。

(杉谷教育長) 3学期に何かないですか。

(原田教育部次長) 例年だと、第2回の中学校生徒会リーダー会研修会で学校の生徒会活動におけるきずなづくりの取り組み計画を発表して、情報交換を行うということになります。

(杉谷教育長) それは、3学期ですか、2学期ですか。

(原田教育部次長) 2学期の終わり若しくは3学期になります。

(杉谷教育長) 参加していたのは3年生なのでやがて交代します。新生徒会がそれをちゃんと引き継いで、どう取り組んだかというものを、どう取り組んでいくのかも含めて、もう1回集まって情報交換をする機会があります。午前中のい

じめの根絶するためのフレンドシップ宣言ということになりますて、午後の中学生サミットの生徒会の取り組みはどういうふうになっていくのか。

(矢田教育部次長)まとめのポスターをそれぞれ学校へ配るという形で、掲示していただく予定です。その後どうなったかというところは承知しておりません。配るときに、自分たちで作ったものですので、できる行動などを意識して取り組んでくださいということのメッセージも添えながらしたいと思います。

(杉谷教育長)いずれにしても、作って終わりではなくて、うまく学校の中でそれぞれと取り組みを進めてもらいたいということをしていきたいと思います。特にいじめの根絶に向けたフレンドシップ宣言は、きちんと学校で取り組んでもらうように、もう1回集まる機会があるということになります。行政報告ということは、ここで終わらせていただきたいと思います。

### **日程第3 会議録の承認**

(杉谷教育長)次に日程第3、会議録の承認でございますが、7月定例会の会議録について、ご覧になって何か、意見等ございましたでしょうか。

(各委員)なし。

(杉谷教育長)では、意見ないようでございますので7月定例会の会議録については承認といたします。署名については会議終了後にお願いをいたします。

### **日程第4 報告**

(杉谷教育長)本日は議事ございませんので日程第4、報告事項に入ります。まず1点目は教育委員会の後援について、教育政策課山根次長から説明をお願いします。

(山根教育部次長) (資料を用いて説明)

(杉谷教育長)さきほどの説明につきまして、委員のみなさまから、ご質疑ございませんでしょうか。

(各委員)なし。

### **日程第5 次期教育委員会の開催時期**

(杉谷教育長)次期、教育委員会の日程は、9月24日水曜日 午後2時から、会場は、3階庁議室で開催いたします。

### **開会**

(杉谷教育長)以上をもちまして令和7年8月、出雲市教育委員会定例会を閉会とさせていただきます。

(山根教育部次長)皆様、ご起立願います。一同 礼。

【閉会】(午後3時00分)